

平成 29 年度 第 1 回京北第二小学校学校評価の結果と分析

本校教育活動をより充実するために、今年度 1 回目、前期の学校生活について、児童・保護者のアンケートを実施しました。お忙しい中、保護者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。

学校評価のアンケート結果を表にまとめ、そこから質問項目を焦点化して分析・考察いたしました。この内容をもとに、今後もよりよい教育活動を推進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■学校教育目標

自分の未来を切り拓く 心豊かで たくましい 児童の育成

■めざす子ども像

- 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
- ふるさとを愛し、思いやりのある子
- 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

■学校評価の目的

- 学校教育目標・めざす子ども像の達成に向けての学校教育の取組について、学校評価を通して、成果と課題を明らかにし、よりよい学校への改善を図る。
- 保護者・地域の方に、育てたい「子ども像」や課題を知っていただき、子ども達への教育を共に進めていく。
- 児童も前期の生活を振り返り、よりよい学習や生活ができるようにする。

■結果と分析

家庭生活 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①お子たちには、家庭での学習の習慣を身につけていますか。	37	42	16	5	61	29	8	2
②お子たちには挨拶をするなど基本的な生活のマナーを守らせて いますか。	60	33	5	2	68	26	6	0
③お子たちには早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけて いますか。	55	29	14	2	48	38	6	8
④お子たちには学校への提出物などをきちんと出させて いますか。	47	35	16	2	59	31	8	2
⑤お子たちにはテレビゲーム・携帯電話等の時間や約束を守らせ ていますか。	41	39	20	0	59	29	4	8
⑥お子たちには家での役割を持たせていますか。	37	37	24	2	52	30	12	6
⑦お子たちは家庭で学校のことを話すなど、子どもと対話やふ れあいの時間をもっていますか。	51	37	10	2	63	27	4	6

⑥家の役割については、保護者において A そう思う (以下 A) と B 大体そう思う (以下 B) の合計が 74%と 80%に届かない結果となっています。また、児童においても C あまりそう思わない (以下 C) と D そう思わない (以下 D) の合計が 18%と高い結果となっています。昨年度も分析したように、とりわけ役割を決めずに家庭の仕事をしている児童も多いかと思います。ただ、発達段階に合わせて家の役割をもつことは、家族の一員としての自覚を高め、責任感を養う上で大切であると考えています。これまで同様、家庭科や道徳の時間で、家の役割をもつことへの価値づけをしていきたいです。

①家庭での学習の習慣については、保護者、児童ともに A と B の合計が 80%以上あります。ただ、保護者において A よりも B の割合の方が多いのに対し、児童では A が 61%と B よりも多くなっています。このずれは、児童が家庭で学習をしていれば A と回答しているのに対して、保護者は児童の様子を見て、自ら (保護者が声をかける前に) 学習に取り組んでいなければ A ではないと高い意識をもって判断されたからではないかと考えます。家庭学習は目安として、学年×15 分と言われます。中・高学年においては、漢字や計算などの反復練習することに加えて、復習することも求められると思います。自主学習の取組を進めるなど家庭学習の内容を工夫していくと共に、復習の仕方についても指導していきます。

⑤テレビゲーム・携帯電話等の時間や約束については、保護者において C が 20%となっています。ただ、携帯電話やテレビゲームを持っていないという場合もあります。学校では情報教育の取組の中で、携帯電話やメール、SNS 等について、その使い方等を学習していきます。大切なことは自分でコントロールするということです。その基礎を養う上でも、家庭でのルールづくりはとても重要なものであると考えています。

学校生活 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①お子たちは、は学校生活を楽しく送っていますか。	56	39	5	0	68	24	6	2
②お子たちに、友達を大切にし合う関係は育っていますか。	62	31	7	0	66	24	10	0
③思いやりの心やいじめを許さない心は育っていますか。	56	39	5	0	59	31	6	4
④学校は授業や行事を通して、健康教育や保健教育に積極的に取り組んでいますか。	52	43	5	0	66	28	2	4

どの質問項目においても A・B 合わせて 90%以上あります。ただ、少数ではありますが、保護者にも児童にも C・D の回答があり、②友達を大切にし合うことについては児童で C が 10%となっています。これは見過ごすことができないと考えています。友達関係はよい時も悪い時もあります。悪い時は互いの欠点が気になります。そこで、学校では「なかよしの日」の取組や終わりの会の中で仲間のよいところを発表し合うことをしています。また、友達のよいところを見つけようとするためには、まずは自分のよいところを見つけることが大切になります。いわゆる自尊感情です。困っている児童に寄り添い、その子のよいところをたくさん引き出し、伝えていける教職員でありたいと考えています。

学習 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない, 数字は%)

質問項目	保護者				児童			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校は、工夫して分かりやすい授業を行うなど、学力の充実、向上に積極的に取り組んでいますか。	39	46	10	5	59	33	8	0
②お子たちは、意欲的に学習に取り組み、授業の内容を理解していると思いますか。	31	44	20	5	59	33	4	4
③お子たちは、授業などでクラスや仲間に自分の考えを表現・発表することができていますか。	42	35	18	5	63	25	10	2
④お子たちは、いろいろな課題についてあきらめず粘り強く取り組めていますか。	40	33	22	5	50	36	12	2

④粘り強く取り組めているかについては、CとDを合わせて保護者において27%，児童で14%もあります。児童が自分の納得のいく目標（めあて）を設定し、それに向かって粘り強く取り組む、そんな教育活動が進められているのか、今一度確かめていきたいと考えています。そして、難しい問題に直面した時、くじけそうになった時に、背中をもう一押しするサポートをしていきます。宿題として漢字や計算の反復練習を出すことがあります。そして、定期的に全校での漢字大会・計算大会を行っています。この取組では、満点賞をとることもそうなのですが、その目標（めあて）に向かって粘り強く努力していたことを評価することを大切にしています。そして、その頑張りの過程を保護者に伝えていき、教職員と保護者が同じように褒めることで児童は自分に自信をもちます。そして、その自信が次の取組への意欲につながるのだと考えています。

②授業の内容理解については、保護者においてAとBの合計が80%以下で、AよりもBの方が多くなっています。それに対して児童はAとBの合計が92%，うちAが59%となっています。おそらく児童が単元を通して最終的に学習内容が分かった、宿題もやることはやっているということの自己評価をしているのに対し、保護者はテスト等の結果と日頃宿題をしている様子を見て学習内容を十分に理解していないこと、または家庭学習に自分から進んで取りかからないことなどから回答しているのではないでしょうか。学校ではよりよい授業づくりをめざして教職員の研修を行っていますが、その1つとしてノート指導にも力を注いでいます。ノートを書くときには知識の羅列だけでなく、児童が授業で何を、どう考えたのかが分かるようにすることを大切にしています。こうしたノートを家庭学習で振り返ることで、内容の定着につながると考えているからです。

③自分の考えを表現・発表については、保護者でAとBの合計が80%以下で、児童もCとDの合計が12%となっています。学校では対話を通して学ぶことを大切にしています。それは、一人では気付かないことに気付いたり、自分の考えを深めたり、広めたりすることができるからです。また、協働的な学習を行う態度を身につけることは将来においても大切なことです。今年度から京北3小学校での合同学習を進めています。より多くの仲間に自分の考えを伝える、多様な考えに刺激を受けながら学習する、そんな経験ができるよう内容を工夫していきます。

学校運営 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない, 数字は%)

質問項目	保護者				児童			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校行事は子どもの力を育てるものになっていますか。	74	24	2	0	63	22	11	4
②学校は、保護者に教育目標やめざす児童像を分かりやすく伝えていますか。	45	35	18	2	63	29	6	2
③学校は、学校便りや学級通信、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていますか。	56	37	5	2	61	29	4	6

①学校行事については、児童でCとDの合計が15%となっています。行事で感じた達成感、協力することの素晴らしさ、努力することのよさを普段の学校生活に結びつける工夫が必要です。まずは、行事の振り返りをしっかりとして、次に何を目標（めあて）とするのかを考える。発達段階にもよりますが、行事をきっかけとして確かに自分はステップアップしたと感じられるようにしていきたいです。

②教育目標やめざす児童像については、保護者においてCとDの合計が20%となっています。行事や各学級の取組と教育目標やめざす児童像とのつながりを教職員で再確認し、年度当初の学校便りだけでなく、取組をお伝えするときに説明するようにしていきます。

学校・保護者・地域との連携 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない, 数字は%)

質問項目	保護者				児童			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校・担任は保護者の相談に丁寧に対応していますか。	50	40	5	5	55	24	8	13
②子どもは、地域の行事やイベントに参加していますか。	69	27	2	2	63	31	4	2
③学校・家庭・地域が協力して子ども達の安全や健全育成に努めていますか。	56	33	9	2	61	27	8	4

①相談への丁寧な対応については、児童でCとDの合計が21%（うちDが13%）となっています。自由記述の中には、教職員と児童とのかかわり方についてのご意見もありました。保護者、児童に信頼される教職員とはどのようなものなのか、研鑽を深め、実践につなげたいと考えています。また、困ったときに、学校においてはまず担任に相談しあうのですが、養護教諭、教務主任、管理用務員等、担任以外にも相談できる教職員がいることも児童に発信していきたいです。

保護者アンケート自由記述欄より（抜粋）

- 少人数ながら、学年をこえて、多くの友達ができ、楽しくすごしています。
- 学校生活は活気があって楽しくすごせていて良いと思うのですが、もう少し一人一人が落ち着いてじっくり学習できる授業環境を作ってほしいと思います。
- 新しい担任の先生のお陰で、子どもがのびのびと楽しそうに学校生活を送っています。
体力をつけるのは大切だと思うのですが、強制なのはどうかと思います。陸上（部活動）のように選べたらいいと思います。
- 授業参観の時に1回も発表していっているところを見られなかった時がありました。できたら、手を上げない子にも少ない人数なので、促して発表させてほしいなと思いました。
運動会では子ども達ががんばっている姿が見られ感動しました。先生方のご指導も大変だったと思います。感謝しています。
- 慣れない環境のなか、少しずつできることが増えてきました。授業が難しくなってきて「分からない」ということも多いですが、家では机に向かう時間が増えてきました。
ホームページの写真が他学年と比べて少ないように思います。
- 先生と生徒の間に一線を引けていない。先生の生徒への発言が子どもみたいで先生と思えない。
運動会の表現運動の完成度が低く感じた。毎年もっと迫力があった。指導不足では。
この（学校評価）アンケートを書く意味がありますか。あるとは思えない。
- 日頃は学校教育運営に多大な努力をしていただき本当にありがとうございます。「家庭」では豊かな毎日の暮らしを考えたいため「学習の習慣」は身につけさせないようにしています。先生たちの（キャリア向上も含めた）労働環境がよりよくなるよう求めると共に、京北という山間地の環境を生かした教育が実践されることを希求します。
- いつも大変お世話になります。家庭の都合で地域の行事に参加できないことがあります、地域の方々にも見守られ、伸び伸びとすごさせていただいており、感謝いたしております。
- 第二小学校はとてもステキな学校で、親子ともども学びが多いです。このような地域との繋がりを統合後も継続できるのか心配です。
- 授業が遅れていると聞いています。心配です。授業の時間に友達が友達をあてるというのにストレスを感じているようです。
- 教育活動に関係ないのですが、運動会の時に思ったのですが、真ん中のテントのところに保護者の撮影スペースを設けてはどうかと思います。我が子の出番が終われば交代するという感じで。
- 運動会のアンケートがなかったのですが・・、意見等があったのですが、必要では。子ども達の成長に感動しました。
- 京北3校の保護者（二小ではない）の方と仕事をしています。運動会が延期になると、3校とも予備日が同じだと仕事が休みません。予備日が平日の時は3校とも違う日を予備日にしてほしいです。今回の運動会、見に行けませんでした。
- 京北第二小の保護者になって7年目です。本年の運動会は今までになく新鮮な感じで、子ども達の動きや音楽など、とても良かったと思います。若い先生にしかできないことを、これからもがんばっていただきたいと陰ながら応援しています。
- 運動会では、子ども達が大変いきいきしている姿が印象的でした。高学年になると、その運営も担っていくわけですが、「やらされている」感がなく、子ども達自身が運動会を成功させたいという思いと先生方がその気持ちを大事に子ども達と一緒に作り上げてくださっている様子がとてもよく伝わってきました。本当にありがとうございました。

□夏休み明けから運動会に向け、子ども達もとてもがんばったと思います。組体操とても感動しました。先生方のご指導も大変だったと思います。感謝しています。ただ、夏休み明けからの指導で、短期間であり、子ども達も大変そうでした。できれば、夏休み前に基本的な個人技などを家でそれぞれ練習してくるように伝えるなど前はされていたので（4年生は特に初めてのことなので）その方が練習もスムーズになるかなと思いました。短期間に仕上げないといけないのは子どもにも負担が大きいのではと。でも、仕上がりはすばらしかったです。子ども達が成功させるぞという気持ちが伝わり、とても感動しました。

学校評議員会より

- 学校生活で友達を大切にし合う関係や思いやり、いじめを許さない心についてC、Dの回答があつたが、友達と仲良く、助け合っていることが大切だ。
- 家での役割をもたせているのかについては、保護者と児童のアンケートの質問文のニュアンスが少し違っているように思う。保護者と児童の結果を比較して分析するのは難しい項目も見受けられる。学校の課題を明らかにできるよう内容を絞って、具体的な質問文にしてはどうか。
- 参観した授業で、ノートをテレビに映して、自分の考えを説明している場面があった。昔とは教室の学習環境が大きく違うと感じた。こうした機器を使って、発表などの活動を授業の中で行うことができるの、子ども達にとっても良いことだと思う。
- 担任が「～ちゃう？」といった発問をしていた。児童に正しい日本語を使わせていくためには、まずは教職員が正しい日本語使うことが大切であると思う。児童と親しみをもつことも大事だが、けじめをつけて緊張感をもたせるべきときも必要だ。
- 春から見比べて、成長した児童がいれば、あまり変わっていない児童も見受けられる。また、学校評価にもあつたように、友達関係が気になる児童は少ないがいる。
- 授業力をあげるためにも、研究授業などを通して、互いに切磋琢磨してほしい。